

2013年8月発行

安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097

ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-awa/index.html>

発行：安房農業事務所改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会



トルコギキョウの芽整理を実施中

神戸花卉生産組合での トルコギキョウの芽整理

館山市の神戸花卉生産組合トルコギキョウ部会では、ほ場での芽整理に取り組み始めました。

これは、従来は収穫後の出荷調整時にこの作業を行っていましたが、生育期間中に、下方の不要な枝を整理し、その後、開花のそろいを考慮して蕾を整理します。

枝数、蕾数が制限されることで、大輪系品種では、一つひとつの花がより大きくなり、存在感のある大輪に仕上がります。

トルコギキョウは全国で栽培されている品目ですが、他産地とも情報交換し、互いに技術を磨きあい、消費者から選ばれる「神戸のトルコギキョウ」を作り続けていきます。

《生産者の皆様》

「米トレサビリテイ法」について

今年もお米の出荷時期が近づいていますが、お米の取引を行う際に関係する法律についてご存知でしょうか。

米・米加工品の取引等をした際に、「記録の作成・保存」及び「産地情報の伝達」を義務付けるものです。生産者をはじめ、米・米加工品を扱う全ての事業者が対象となります。

◆対象品目（米・米加工品）

- ・玄米、精米、種もみ
- ・米粉や米こうじ等の中間原材料
- ・ご飯、炊き込みご飯、おにぎり
- ・もち、だんご、米菓 など

◆取引等の記録の作成・保存

米・米加工品を取引、事業者間の移動、廃棄を行う場合に、「品名、産地、数量、年月日、取引先名、搬出入の場所、用途が限定されている米穀

（加工用米など）はその用途を記録し、原則3年間保存する必要があります。

実際の取引では、必要事項が記載されている伝票類（帳簿も可）を保存することで、記録・保存の義務を果たしたことになります。

◆産地情報の伝達

国産米は「国産」、「千葉県産」など、事実に基づき産地を伝達することが必要です。

①事業者間の産地伝達

米・米加工品を取引、事業者間の移動を行う場合、商品の容器・包装又は伝票などへ記載

②一般消費者への産地伝達

米・米加工品を販売する場合、容器・包装へ直接記載。

◆問い合わせ先

農林水産省関東農政局千葉地域センター流通監視チーム
 ☎043-224-5615
 県安全農業推進課食の安心推進室
 ☎043-223-3082

安房地域で栽培が拡大中！

「スナップエンドウ」をハウスで栽培してみませんか？

消費者からの人気が急上昇中で、栽培期間6～8ヶ月（は種：9月中旬～10月下旬、収穫：12月上旬～4月下旬）、所得率7割のスナップエンドウを紹介します。

◆人気急上昇！

スナップエンドウは近年、消費者からの人気が高まっている野菜で、日本農業新聞「2013年野菜の売れ筋ランキング」では、2位となりました。

◆暖房用燃料費削減！

耐寒性が強く、最低温度は3℃程度で管理することができます。

◆諸経費が少なく高単価！

生産・出荷経費は6.1万円／a、1aから市場出荷が可能なほど多収（200kg／a）で、平均単価は1,000円／kgとなっています。

◆品種！

安房地域では、分枝の少な

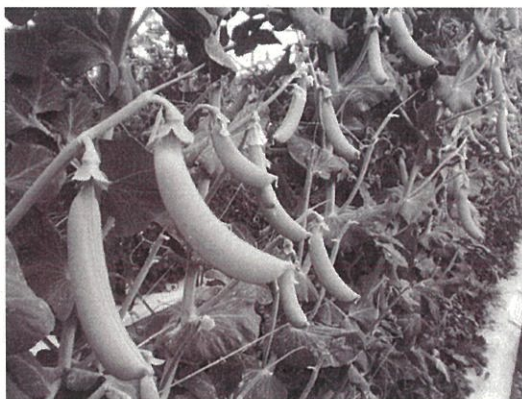
い極早生品種「ニムラサラダスナップ」を利用しています。

◆栽培のポイント！

基本的には主茎のみを伸ばし、分枝は除去します。

大きな莢を収穫するために、下位節の花は摘花します。短期栽培でも10節目、長期栽培なら15節目までを目安に摘花します。

※栽培方法には工夫が必要です。御興味のある方は安房農業事務所改良普及課担当の南までお気軽にご相談ください。



ソテツの基本的な栽培方法

安房地域では、昭和初期に沖縄県や鹿児島県からソテツの株が導入され、他の作物との労力競合が少ないことなどから、戦後大幅に栽培面積が増加しました。昨年度のJA安房花卉部を対象とした面積調査の結果も、1位(535ha)でした。栽培方法を御紹介します。

①栽培環境

排水の良い場所が適しています。霜の降る地域、海に近く風当たりの強い土地、1日中日の当たる場所では、葉の黄化等の傷みが発生しやすいため、栽培には適しません。

②管理方法

草に覆われないよう、年3〜4回除草を行います。葉のつや出しと生育促進のために3、9月に有機質肥料を与えます。定植後15〜20年程度で開花する場合がありますが、

花が付くとその年は葉が出ません。雄株は早めに花を取り除き、出葉を促しますが、雌株は出葉しないことが多いです。

③病害虫

主な害虫はカメムシ類、カイガラムシ類です。若い葉が吸汁・食害を受けて商品価値を失うため、見つけ次第補殺する必要があります。

④収穫・出荷

需要の大きい東北方面の市場では、110cm以上の比較的長い葉が求められます。株の外側の葉から数回に分けて収穫し、株の充実と翌年の新葉の長さを確保します。10枚一束に結束するので、1株当たり10の倍数枚切ると、同じ幅の葉で揃えやすくなります。今後も上質なソテツの出荷を心掛けましょう。

とっても簡単!

米粉であやつ

最近では米粉が手軽に買えるようになりました。米粉は粒子が細かいので、ふるう手間が無く、かき混ぜても粘り気が出ないため、使いやすい食材です。パンを始め、ケーキなどのお菓子や、シチューやお好み焼きなどの料理にも幅広く使えます。今回は簡単に作れるおやつを御紹介します。

米粉の焼きドーナツ

【材料】

- 米粉(うるち米) 100g
 - ベーキングパウダー 5g
 - 卵 1個
 - 牛乳 70cc
 - 砂糖 15g
 - はちみつ 大さじ2
 - サラダ油 大さじ1
- (お好みでココア小さじ2)

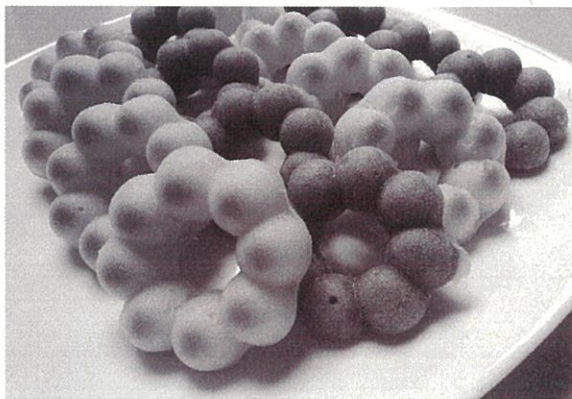
【作り方】

- ① ボールに卵、牛乳、砂糖、

はちみつを入れてよく混ぜる。
② ①に米粉とベーキングパウダーを加えて、だまが無くなるまで混ぜる。

③ サラダ油を加え、混ぜる。
④ シリコン製のドーナツ型に生地を流し入れ、170度に予熱したオーブンで15分焼く。

型はオーブンで使用できるシリコン製のものを使います。一口サイズのミニドーナツの型で、約20個作れます。



南房総オーガニックが 設立されました

安房地域には、「三芳村生産グループ」など先進的に有機農業に取り組む団体や生産者がおり、有機農業が実践されています。このような当地域での取り組みにより、有機農業を志して就農する若者が増え、経営体セミナーにも有機農業を志す農業青年が増えてきました。

そこで平成24年度に農業事務所では経営体育成セミナーの修了生を対象にスキルアップセミナーを開催しました。このスキルアップセミナーの参加者自らが中心となって、平成24年11月28日に設立されたのが「南房総オーガニック」です。(会長・岡本高憲。会員13名)

「南房総オーガニック」の参加者は、特に生産団体などに属することなく、独自で技術を模索し、販売に取り組んで

きていました。

「技術の交換を行って栽培の安定を図りたい」「販路を拡大していきたい」「安房地域ならではのおもてなしをして消費者との交流をしたい」などの思いが一致し、組織の設立となりました。

この7月からは毎月第一日曜日には館山パイオニアファームを会場に「日曜マルシェ」を開催し、地元消費者向けに野菜やハーブの販売会を始めました。若い彼らの今後の活動が楽しみです。



第1回 日曜マルシェにて！

平成25年度 「安房地域活性化フォーラム」 開催について

昨年度まで千葉県農山漁村いきいきアドバイザー安房地区連絡会と、当農業事務所の共催で開催していました「安房地域いきいきフォーラム」を、本年度から新たに「安房地域活性化フォーラム」として、当農業事務所と安房農林業振興協議会の共催で開催します。

本年度は、12月6日(金)12時から、南房総市の「白浜フローラルホール」を会場に開催します。主な内容は、知恵と工夫の集落営農・鳥獣害対策の取り組みを探ろうと、千葉県型集落営農や、獣害に負けない農村づくりの事例発表、鳥獣害対策についての講演を予定しています。また、安房農業賞・農業奨励賞の表彰式も行います。好評の女性起業家等の販売もあります。ぜひ御参加ください。

Facebook「ちば農業情報局」 開設しました！

千葉県農林水産部担い手支援課の公式Facebookページ「ちば農業情報局」が開設いたしました。

ここでは、①気象災害対策や病害虫の発生情報、②農林総合研究センターが取り組んでいる技術開発の情報、③農業者向けの研修会や講演会など経営に役立つ情報、などの情報をタイムリーに発信していきます。

安房農業事務所では、安房地域で開催される農業者向けの研修会や講演会などの情報を発信していきます。

購読は、Facebookに登録してから、マイページで「ちば農業情報局」で検索するか、www.facebook.com/chibaagriへアクセスし、「いいね！」をクリックしてください。